

# 委託事業実施内容報告書

## 平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人 浜松日本語日本文化研究会

### 1. 事業名称 日本語学習支援浜松まちなかプロジェクト

### 2. 事業の目的

浜松に暮らす外国人が日々の生活の中で出会う様々な場面で使われる日本語の学習機会を提供し、習得へと導く。  
浜松駅の近くに日本語教室を設置し、広く浜松市とその周辺地域に在住する外国人に、日本での生活を安全に豊かに送るために役立つ日本語会話を指導する。  
上記日本語教室に関わる日本語教師・ボランティアおよび関心がある日本人に対し、実践的で具体的な日本語教授法のアイデアを共有するための日本語指導者養成ワークショップを開催する。  
上記日本語教室で使用するための、カリキュラム案にあるCan-doをレベル別に抽出したオリジナル教材を作成する。

### 3. 事業内容の概要

- ・平日に働かなければならない学習者のために、日曜日に教室を開設する。また、教室の設置場所は、浜松市内のどこからでもアクセスが容易な場所(中央1丁目の浜松市市民協働センター)とする。
- ・多様な学習者の多様なニーズに応えるべく、仮名、漢字クラス及び会話クラスを入門～中級のレベル別に設置する。
- ・生活者のための日本語教育において、既存のテキストに頼るのではなく、より効果的な場面に即した内容を扱いながら、学習者の「上達したい」＝「応用力、文法力をつけたい」というニーズに応えられる教室を実施するために、11回の研修を通して、本事業の教室運営および他団体の地域の日本語教室に関わる指導者のスキルアップを目指す。
- ・上記のような教室活動のための、効果的な教材を作成し、実際に使用する。

### 4. 運営委員会の開催について

#### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年10月5日 17:30～19:30	2時間	浜松市市民協働センター アトリエ	原沢伊都夫 松葉優子 加藤庸子 敷浪のぞみ	事業内容の報告 教室運営への助言 仲介機関が企業実習生を教室に連れてくることについて	効果的な教室運営について
2	平成26年1月25日 17:30～19:30	2時間	浜松市市民協働センター アトリエ	原沢伊都夫 松葉優子 加藤庸子 敷浪のぞみ	事業内容の報告 来年度の体制の検討	カリキュラム案の効果的利用法の検討 識字クラス実施方法について 教室についてのインタビューの実施方法について

### 5. 日本語教室の実施

#### (1) 講座名称 日曜まちなか日本語教室

#### (2) 目的・目標

浜松という地域に暮らす外国人が、地域社会で安全にかつ充実した生活を送るために必要な日本語を学習する機会を提供し、習得に結びつけるための支援を行う。

#### (3) 対象者 浜松とその周辺に居住する外国人

#### (4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全 32 回)

#### (5) 使用した教材・リソース

- ・文化庁カリキュラム案
- ・教師作成のオリジナルワークシート
- ・JYLプロジェクト こどもの日本語ライブラリ(仮名クラス教材)  
[http://www.kodomo-kotoba.info/booklet/basicsearch\\_booklet\\_02\\_01.html](http://www.kodomo-kotoba.info/booklet/basicsearch_booklet_02_01.html)  
[http://www.kodomo-kotoba.info/booklet/basicsearch\\_booklet\\_02\\_02.html](http://www.kodomo-kotoba.info/booklet/basicsearch_booklet_02_02.html)

#### (6) 受講者の総数 129 人

#### (出身・国籍別内訳

ブラジル(6人)、ペルー(7人)、フィリピン(5人)、インドネシア(54人)、タイ(6人)、中国(15人)、アメリカ(4人)、インド(8人)、ネパール(5人)、ベトナム(8人)、ニュージーランド(1人)、オーストラリア(1人)、台湾(1人)、ジャマイカ(4人)、マレーシア(1人)、カナダ(1人)、プエルトリコ(1人)、パキスタン(1人)

## (7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要(一部)	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年5月19日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	47人	ブラジル(7人)、ペルー(6人)、フィリピン(3人)、インドネシア(20人)、タイ(4人)、中国(3人)、アメリカ(1人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、カナダ(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認及び日にち・曜日・時刻の言い方 (漢字クラス)地震についての語彙を知る・読めるようにする (会話入門)郵便局などで使われる言葉を知り、外国に荷物を送る練習をする。 (会話初級)出身地のお祭りについて説明したり、紹介しあったりする。 (会話中級)公共マナーのポスターを見て、質問をする。理解を深める。	堀田志寿子・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・村島理恵・松浦圭子・敷浪のぞみ・長坂月子・戸田幸子	
2	平成25年5月26日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	41人	ブラジル(8人)、ペルー(7人)、フィリピン(5人)、インドネシア(10人)、タイ(1人)、中国(5人)、インド(3人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)既習漢字の復習をする。 (会話入門)商品の故障やトラブルの状況を説明し、返品・交換などの依頼をする。 (会話初級)お土産にまつわる、お礼の言い方や、非言語的な感謝の表し方を知り、練習する。 (会話中級)よく知らない人に対する話しかけ方や、内容の良さしについて話し合い、ロールプレイで練習する。	堀田志寿子・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・長坂月子・米山敬子	牛芋美由樹
3	平成25年6月2日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	47人	ブラジル(9人)、ペルー(5人)、フィリピン(2人)、インドネシア(19人)、タイ(3人)、中国(4人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、ネパール(1人)、プエルトリコ(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)処方箋によく見られる語彙を理解し、漢字を読めるようにする (会話入門)飲食店で、メニューについて聞き、情報を得る。 (会話初級)出身地の特産品について説明したり、他の人に質問したりする。 (会話中級)梅雨についての語彙を増やし、対処法について話し合う。	橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・村島理恵・敷浪のぞみ・長坂月子・米山敬子	
4	平成25年6月9日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	36人	ブラジル(9人)、ペルー(5人)、フィリピン(2人)、インドネシア(19人)、タイ(3人)、中国(4人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、ネパール(1人)、プエルトリコ(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)店内や商品の表示によく見られる語彙を理解し、漢字を読めるようにする。 (会話入門)健康状態を簡単に説明できるようにする。日本の気候変化について知る。 (会話初級)身近な食材について、話したり、質問したりする。 (会話中級)日本人のあいづちの打ち方について理解を深める。意見を言ったり、聞いたりするときなどのようにふるまうのが良いか考える。	堀田志寿子・橋本貞美・加藤庸子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	
5	平成25年6月16日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	19人	ブラジル(3人)、ペルー(4人)、フィリピン(1人)、インドネシア(7人)、タイ(2人)、中国(1人)、インド(1人)、	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)公共機関の表示に見られる語彙を理解し、漢字が読めるようにする。 (会話入門)スーパーなどで探しているものについて店員に聞けるようにする。 (会話初級)食中毒についての知識と語彙を深める。予防方法を説明できるようにする。 (会話中級)駅での忘れ物について詳しく説明する。	堀田志寿子・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・敷浪のぞみ・戸田幸子	牛芋美由樹

6	平成25年6月23日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	35人	ブラジル(5人)、ペルー(5人)、フィリピン(2人)、インドネシア(13人)、タイ(3人)、中国(3人)、インド(3人)、マレーシア(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)観光情報に見られる語彙を理解し、漢字が読めるようにする。 (会話入門)デパート・スーパー・コンビニなどで、ほしいものを探すことができる。断ることができる。 (会話初級)過去のことについて説明したり、質問したりすることができるようにする。 (会話中級)ほしいものが売っている店を探すことができるようにする。店についての語彙を増やす。	堀田志寿子・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・敷浪のぞみ・長坂月子・米山敬子	牛芋美由樹
7	平成25年6月30日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	36人	ブラジル(4人)、ペルー(6人)、フィリピン(1人)、インドネシア(14人)、タイ(3人)、中国(4人)、インド(3人)、ネパール(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)自分の情報を説明するのに必要な漢字を書けるようにする (会話入門)公共交通機関での基本的な会話ができるようにする (会話初級)出身国の観光地について説明したり勧めたりする (会話中級)旅行の計画において、意見を婉曲的にのべる	堀田志寿子・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・村島理恵・敷浪のぞみ・長坂月子・米山敬子	
8	平成25年7月7日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	29人	ブラジル(8人)、ペルー(5人)、フィリピン(2人)、インドネシア(5人)、タイ(4人)、中国(2人)、インド(2人)、マレーシア(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)ごみ収集に関する表示を理解できるようにする (会話入門)贈答(お中元)についての文化を知り、簡単な会話ができるようにする (会話初級)七夕について知る、話す (会話中級)将来の目標やその理由について話す	堀田志寿子・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・村島理恵・米山敬子・花井典子	
9	平成25年7月21日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	29人	ブラジル(4人)、ペルー(5人)、フィリピン(4人)、インドネシア(8人)、タイ(2人)、中国(5人)、インド(1人)、	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)病院で見られる語彙を理解し、漢字が読めるようにする (会話入門)天気予報、台風情報について知り、基本的な語彙が理解できるようにする (会話初級)人や服装、商品について描写し、説明する (会話中級)性格を表す言葉を学び、職業とそれに合った正確について話す	堀田志寿子・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・村島理恵・長坂月子・米山敬子・戸田幸子	
10	平成25年7月28日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	33人	ブラジル(4人)、ペルー(4人)、フィリピン(5人)、インドネシア(9人)、タイ(2人)、中国(5人)、インド(2人)、マレーシア(2人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)街で見る標識や注意書きなどの漢字を理解する。 (会話入門)初対面の人と簡単な自己紹介をする。 (会話初級)友人の誘いに乗る表現を学習する。 (会話中級)救急車に関する表現を学ぶ。熱中症について会話する。	高林泰央・橋本貞美・加藤庸子・松浦圭子・長坂月子・米山敬子	牛芋美由樹
11	平成25年8月18日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	20人	ブラジル(4人)、ペルー(3人)、フィリピン(1人)、インドネシア(5人)、タイ(1人)、中国(5人)、インド(1人)、	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)自然災害に関する情報に見られる漢字を学習する。 (会話入門)時に関する基本的な表現の復習。 (会話初級)熱中症の症状について知り、適切な対処方法を知る。 (会話中級)日本の夏・天候についての表現を増やす。	池谷日都美・橋本貞美・加藤庸子・村島理恵・敷浪のぞみ・長坂月子・米山敬子	岩瀬ひろみ

12	平成25年8月25日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	23人	ブラジル(3人)、ペルー(3人)、フィリピン(1人)、インドネシア(8人)、中国(4人)、インド(2人)、ネパール(1人)、ニュージーランド(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)天気予報・自然災害についての漢字を補足する。 (会話入門)落し物や忘れ物を説明する基本的な表現を学ぶ。 (会話初級)久しぶりに会った友人に近況報告をする表現を学ぶ。 (会話中級)自国と日本の食生活の違いについて知り、表現する。	高林泰央・加藤庸子・松浦圭子・敷浪のぞみ・古田さと子・米山敬子	牛芋美由樹・橋本貞美・岩瀬ひろみ
13	平成25年9月1日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	39人	ブラジル(3人)、ペルー(8人)、フィリピン(3人)、インドネシア(13人)、タイ(2人)、中国(7人)、ネパール(2人)、パキスタン(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)漢字について周りの日本人に尋ねる表現を学ぶ。 (会話入門)公共交通機関について周りの人に尋ねる表現を学習する。 (会話初級)インターネットを活用して、天気予報・災害情報を知る。 (会話中級)環境問題について話し、表現を増やす。	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・加藤庸子・太田瑠璃子・村島理恵・敷浪のぞみ・米山敬子	
14	平成25年9月8日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	47人	ブラジル(6人)、ペルー(6人)、フィリピン(4人)、インドネシア(14人)、タイ(1人)、中国(8人)、インド(2人)、ネパール(1人)、ベトナム(3人)、ニュージーランド(1人)、オーストラリア(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)漢字の復習テスト (会話入門)初診受付と問診票について理解する。 (会話初級)美容院を利用するときの表現を学ぶ。 (会話中級)改まった場面での服装について話しあい、表現を増やす。	高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・村島理恵・敷浪のぞみ・米山敬子	
15	平成25年9月15日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	50人	ブラジル(6人)、ペルー(5人)、フィリピン(4人)、インドネシア(16人)、中国(9人)、インド(2人)、ネパール(1人)、ベトナム(4人)、ニュージーランド(1人)、パキスタン(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)自分が好きなもの(映画など)について話すための基本的な表現を学ぶ。 (会話初級)日本の一般常識やマナーについて知り、知りたいときに周りの人に尋ねる表現を学ぶ。 (会話中級)服装について褒める表現と「謙遜する」表現を学ぶ。	高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・古田さと子・戸田幸子	牛芋美由樹
16	平成25年9月29日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	48人	ブラジル(6人)、ペルー(4人)、フィリピン(1人)、インドネシア(16人)、中国(12人)、アメリカ(1人)、インド(4人)、マレーシア(1人)、ベトナム(2人)、パキスタン(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)観光パンフレットに見られる基本的な漢字を学ぶ。 (会話入門)台風情報を理解するための基本的な言葉を学ぶ。 (会話初級)授受表現の復習をする。 (会話中級)日本の箸のマナーについて理解を深め、語彙を増やす。	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・敷浪のぞみ・米山敬子	



17	平成25年10月6日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	49人	ブラジル(4人)、ペルー(5人)、フィリピン(1人)、インドネシア(21人)、タイ(1人)、中国(10人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、ネパール(1人)、ベトナム(1人)、ニュージーランド(1人)、オーストラリア(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)漢字の復習テスト (会話入門)自分の余暇の過ごし方について紹介する表現を学ぶ。 (会話初級)日本語の学習方法を知る。 (会話中級)自分の日本語学習法を振り返り、他の人と共有する。	高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・敷浪のぞみ・古田さと子・米山敬子	牛芋美由樹
18	平成25年10月13日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	46人	ブラジル(6人)、ペルー(5人)、フィリピン(1人)、インドネシア(17人)、タイ(1人)、中国(8人)、インド(1人)、ネパール(2人)、ベトナム(4)、パキスタン(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)自己紹介で使える表現を増やす。 (会話初級)お店の中で必要なものを探すための基本的な質問を学ぶ。 (会話中級)謝罪表現を豊かにする。場面に合わせて謝罪の度合いを変えることを知る。	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ	戸田幸子
19	平成25年10月20日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	37人	ブラジル(4人)、ペルー(3人)、フィリピン(1人)、インドネシア(8人)、中国(10人)、インド(1人)、ネパール(5人)、ベトナム(5人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)クラスへの欠席や早退の連絡の仕方を学ぶ。 (会話初級)駅構内やバスのアナウンスを理解する。周りの日本人に尋ねる。 (会話中級)目上の人を誘う時の適切な待遇表現について考える。	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・敷浪のぞみ	戸田幸子
20	平成25年10月27日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	51人	ブラジル(4人)、ペルー(6人)、フィリピン(1人)、インドネシア(18人)、タイ(2人)、中国(7人)、アメリカ(1人)、インド(1人)、マレーシア(1人)、ネパール(6人)、ベトナム(3人)、オーストラリア(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)天気予報、台風情報に見られる漢字を学ぶ。 (会話入門)探している店を周りの人に尋ねる表現を学ぶ。 (会話初級)知り合いに学習方法を尋ねる表現を身に付け、学習方法について話し合う。 (会話中級)人を誘う表現のバリエーションを整理し、場面にあった誘い方を練習する。	橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	松浦圭子
21	平成25年11月10日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	42人	ブラジル(3人)、ペルー(6人)、フィリピン(1人)、インドネシア(10人)、タイ(1人)、中国(4人)、インド(2人)、ジャマイカ(3人)、ネパール(8人)、ベトナム(2人)、ニュージーランド(1人)、オーストラリア(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)公共の場面や、標識に見られる漢字を学ぶ。 (会話入門)衣料品店で試着を申し出る表現を学ぶ。 (会話初級)料理の作り方についての表現を増やす。 (会話中級)婉曲的に人を誘う表現を知る。柔らかな断り方について理解を深める。	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹・戸田幸子
22	平成25年11月17日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	48人	ブラジル(3人)、ペルー(9人)、インドネシア(19人)、中国(4人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、ジャマイカ(3人)、ネパール(4人)、ベトナム(1)、ニュージーランド(1人)、オーストラリア(1人)、台湾(1人)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)商品の注意事項に見られる漢字を学ぶ (会話入門)誘ったり、断ったりする表現を学ぶ (会話初級)盗難・窃盗の被害にあった時の対処法を学ぶ (会話中級)紅葉に関する情報をインターネットから入手する・語彙を増やす	高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・古田さと子・米山敬子	松浦圭子

23	平成25年11月24日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	55人	ブラジル(5人)、ペルー(4人)、フィリピン(1人)、インドネシア(24人)、タイ(1人)、中国(5人)、インド(1人)、マレーシア(1人)、ジャマイカ(6人)、ネパール(4人)、ベトナム(1人)、ニュージーランド(1人)、台湾(1)	・仮名 ・生活漢字 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (漢字クラス)調理法に見られる漢字を学ぶ (会話入門)レストランに入った時の基本的なやりとりを学ぶ (会話初級)コンビニで公共料金を支払うやりとりを学ぶ (会話中級)頼みにくい依頼のストラテジーを学ぶ	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・加藤庸子・松浦圭子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
24	平成25年12月8日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	55人	ブラジル(6人)、ペルー(4人)、フィリピン(1人)、インドネシア(30人)、中国(7人)、イギリス(1人)、インド(2人)、ネパール(1人)、ベトナム(2人)、ニュージーランド(1人)、	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)年末年始のあいさつ (会話初級)一年を振り返る (会話中級)飲食店の予約に関わる会話を学ぶ	高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	松浦圭子・米山敬子
25	平成26年1月12日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	52人	ブラジル(5人)、ペルー(4人)、フィリピン(1人)、インドネシア(24人)、中国(6人)、アメリカ(3人)、インド(3人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(2人)、ニュージーランド(1人)、オーストラリア(1人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)スーパーのチラシから情報を得る (会話初級)友人から店をすすめてもらう表現を学ぶ (会話中級)お店での返品・交換のやりとりを学ぶ	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
26	平成26年1月19日 10:00～12:01	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	61人	ブラジル(6人)、ペルー(7人)、フィリピン(1人)、インドネシア(27人)、タイ(2人)、中国(8人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(4人)、パキスタン(1人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)授受表現の基本を復習する (会話初級)インフルエンザについての基本的な語彙・表現を学ぶ (会話中級)お店で取り寄せの手続きをする	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
27	平成26年1月26日 10:00～12:02	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	48人	ブラジル(3人)、ペルー(7人)、フィリピン(1人)、インドネシア(19人)、タイ(2人)、中国(4人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(7人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)自分の国と他国について簡単に比較する表現を学ぶ (会話初級)食品の安全について尋ねる表現を学ぶ・表示の重要な語彙を学ぶ (会話中級)クリニックの初診受付でのやりとりを学ぶ・アレルギーについて説明する	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
28	平成26年2月2日 10:00～12:03	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	43人	ブラジル(7人)、ペルー(8人)、フィリピン(1人)、インドネシア(16人)、タイ(1人)、中国(4人)、アメリカ(2人)、インド(1人)、マレーシア(1人)、ベトナム(2人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)おみやげのやりまわりの基本的な会話を学ぶ (会話初級)地図を読む・目的地までの道案内をする (会話中級)買い物中のトラブルに対処する方法を学ぶ	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹

29	平成26年2月9日 10:00～12:04	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	65人	ブラジル(7人)、ペルー(9人)、フィリピン(1人)、インドネシア(27人)、タイ(2人)、中国(6人)、アメリカ(1人)、インド(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(10人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)気持ちを伝える簡単な表現を学ぶ (会話初級)増税について基本的な表現を学び、話す (会話中級)丁寧な断り方を学ぶ	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
30	平成26年2月23日 10:00～12:05	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	36人	ブラジル(6人)、ペルー(4人)、フィリピン(1人)、インドネシア(11人)、タイ(1人)、中国(4人)、アメリカ(1人)、インド(2人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(3人)、ニュージーランド(1人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)病気の症状を伝える基本的な表現を学ぶ (会話初級)手伝いを申し出る表現を学ぶ (会話中級)趣味やスポーツについて尋ねる敬語表現を学ぶ	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
31	平成26年3月2日 10:00～12:06	2時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第3研修室	39人	ブラジル(6人)、ペルー(2人)、フィリピン(1人)、インドネシア(12人)、タイ(1人)、中国(9人)、アメリカ(1人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(4人)、台湾(1人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)自分の経験を話したり、他人からアドバイスをもらったりする (会話初級)お店の予約を変更する連絡をする (会話中級)お土産の受け渡しに関する敬語表現を学ぶ	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹
32	平成26年3月9日 10:00～12:07	3時間	浜松市市民協働センター2F ギャラリーおよび第4研修室	58人	ブラジル(6人)、ペルー(6人)、フィリピン(1人)、インドネシア(23人)、タイ(2人)、中国(8人)、アメリカ(1人)、インド(1人)、マレーシア(1人)、ネパール(1人)、ベトナム(7人)、台湾(1人)	・仮名 ・会話入門 ・会話初級 ・会話中級	(仮名クラス)個別の進度に応じたひらがな・カタカナの練習・確認 (会話入門)地震の際に回りの人に助けを求める表現を学ぶ (会話初級)他人の自己紹介を理解し、質問をする (会話中級)日本語教室についてのアンケートについて話し合う	池谷日都美・高林泰央・橋本貞美・岩瀬ひろみ・加藤庸子・松浦圭子・太田瑠璃子・敷浪のぞみ・米山敬子	牛芋美由樹

#### (8) 受講者の募集方法

・当団体ホームページ、浜松市国際交流協会広報誌、メーリングリスト、Facebookページ、チラシ(参考資料①)

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

2013年8月25日 仮名クラス

<個別>

①各自の進度に応じて、ひらがなとカタカナの読み書きをする

<全体>

①スーパーのチラシでひらがなとカタカナの言葉を探して読み取る

・チラシの中の果物と野菜の語彙を探す、知っている果物や野菜を発表する

・果物と野菜に分ける

・板書を音読

②「～はいくらですか」「～は～えんです」

・学習者の通貨(ドル、ペソ、げん)を確認

・ペアワーク

③「たべものすごろく」

・今日学習した野菜や果物の読みを確認

導入語彙

・ひらがな、カタカナの読み書き

・「～は いくらですか」、「～は ～えんです」

・食品の種類(やさいとくだもの、その他)

やさい(かぼちゃ、キャベツ、きゅうり、じゃがいもなど)

くだもの(すいか、バナナ、みかん、キウイ、なし、ぶどうなど)、

その他(たまご、ぎゅうにゅう)

達成度・反省点等

・全体ではHさんとAさんはよく発言していたが、Iさんの発言は少なかった。ニュージーランド産キウイはAさんに受けていた。残り10分ほどで、「たべものすごろく」をやった。HさんとAさんはすぐに取り掛かることができたが、Iさんは最後まで分かっていない様子だった。

・スーパーのチラシは品物の写真と一緒に載っていたりニュージーランド産やフィリピン産などの表示があったので、言葉を探したり理解したりする際のヒントになっていた。特殊音やカタカナが未習であるにもかかわらず、果物や野菜の板書にそれらを混ぜてしまった。ローマ字で発音を表記したが、混乱した可能性がある。すごろくはもう少し工夫が必要だと感じた。

2013年9月8日 中級会話

① 日本で服装について迷ったことがないか尋ねる。また服装に気を付けるときはどのような時か話してもらう(お葬式の時・面接の時などの話が出る。)

② いろいろな服装の絵を比べて場面によってどのような服装がいいか話し合う。

③ 話し合いながら語彙の導入、練習。

④ モデル会話「友達の服装を指摘する」を紹介

⑤ モデル会話の練習 & ほかのパターンで会話

導入語彙: 服装(洋服+着方) 服装をする

身だしなみ(服装+α)

きちんと⇔だらしない

(清潔感がある)

寝癖 しわ しわしわ 汚れ

地味(暗い色 ≠ 黒い色)おとなしい・おちついた⇔派手

失礼になる／ならない

カジュアルな／フォーマルな＝あらたまった

あらたまった／きちんと／ふさわしい は「おしやれ」の度合いとは別物

かたすぎる(お呼ばれの時に、スーツを着ていくetc)

・服装で気を付けていることは? という問いでは、「面接の時はスーツ」「証明写真の時は襟があるシャツ」「お葬式では黒い服」などが出てきたので、さらに上位の語彙「ふさわしい」「きちんとした」などを導入した。

・お葬式にふさわしい、きちんとした服装＝喪服なのに、どうして面接の時はだめ? など、少し複雑な質問には、「丁寧すぎる」「黒いからダメ」など、説明を試みていた。

・導入した語彙を会話の中で使う活動は若干時間がたりなくなったため、次回少し復習したい。

2013年11月17日 初級会話

① 学習者に「最近、友達としたこと」を質問する。誘う、または誘われた時にどのような会話をするか質問する。

② スクリプトを配布して、場面とスクリプト内の文の意味を確認。

場面は、「友達を食事に誘う」という場面。

③ ワークシートを使って動詞のます形から「Vませんか」と「Vましょうか」への変形の仕方を確認。

④ スクリプトを使って、ペアで会話を練習。練習後、各ペアごとに発表させて、誤用の訂正。

導入語彙・表現: Vませんか／Vましょう

すみません、Nはちょっと、Nがありますから

いいですね・楽しみです

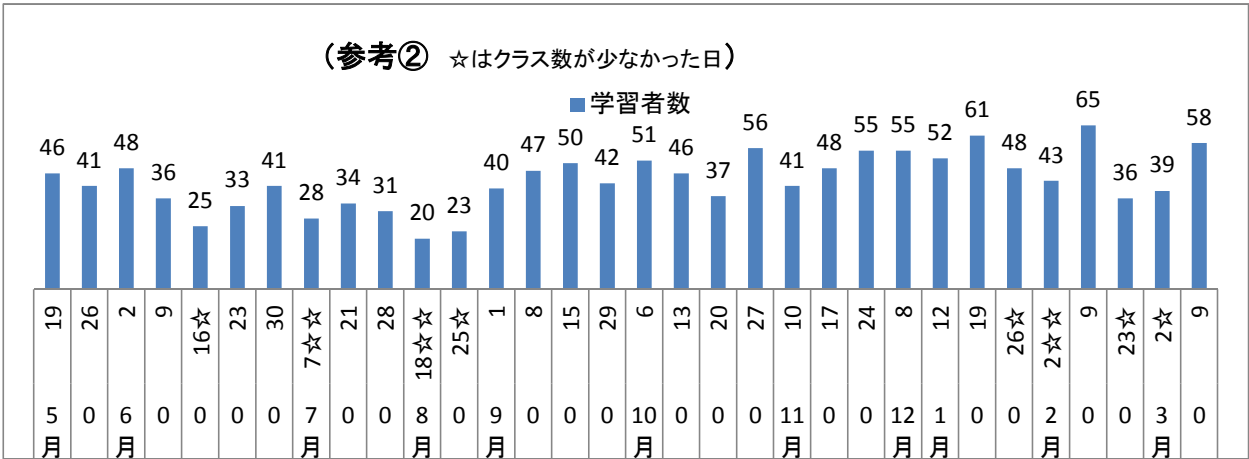
- ・ 場面と会話の内容は、ほとんどの学習者が理解できたようだった。動詞のます形から「Vませんか」と「Vましょうか」への変形もしっかりできていた。しかし、ペアワークの時の会話が例文と殆ど変わらないものになっていた。
- ・ 文型整理の際に「人と人が向き合っているイラスト」とフキダシを利用したが、誰がどのような発言をしているかが、学習者に伝わりやすかったと思う。
- ・ さんは語彙がまだ少ないので、ペアワークの時は他の学習者よりも補助が必要だった。



(10) 目標の達成状況・成果

- ・ 浜松駅周辺という交通アクセスに便利な場所で、日曜日に開催されている教室であるため、仕事に就いている外国人にとって通いやすい教室であったと思われる。そのことは、継続的な学習者出席数から見て取ることができる。(下記参考①②・別添参考資料②アンケート参照)

(参考①) 11月～12月の学習者属性別構成			
(1) 中国帰国者及びその家族	2人	(6) 研修生、技能実習生(※2)	18人
(2) 難民及びその家族	1人	(7) ビジネス関係者及びその家族	22人
(3) 日系人及びその家族	12人	(8) 観光や親族訪問等による短期滞在	人
(4) 日本人配偶者及びその家族	8人	(9) その他	3人
(5) 留学生	1人	(10) 不 明	4人



・前期の最後に出席回数が8割だった学習者に表彰状をわたすイベントを行ったところ、継続的に教室に通う学習者が増加した。続けて通うことで、達成感が得られるというのは、勉強の動機づけの一つとなる。

・カリキュラム案を参考にし、日常生活で役立つ日本語を教える、という内容は好評を得ていて、初めて教室に来た時の目的が日本語能力試験に合格するためだと言った学習者が体験でクラスで勉強したところ、その後も通うことにした、という事例が見られた。

・1週間に1回という少ない頻度でできる限り学習項目の定着を図るために、今年度は学習者全員にファイル配った。毎回のワークシートをファイルして見返す学習者の姿が見られた。また、出席カードには、学習内容をまとめて記入させるようにし、学習者オートノミーを促すことを図った。

・学習者に対して、クラスについての聞き取りを行った際の意見

①中級会話クラス学習者(ブラジル・日系人)

・クラスに来て、いろいろな国の人と日本語で話せるのが楽しい。新しい言葉を知ることができる。自分は、人前で話すのは得意ではないが、先生や周りの人の話を聞いているのも勉強になる。

・普段の会話は困っていないが、丁寧な言葉で話す方法を勉強できるのが、とてもためになる。

②中級会話クラス学習者(台湾・学生)

・自分は文法や言葉は日本語学校で勉強することができているので、自信があるが、日本語教室では上手なコミュニケーションについて勉強できることがとても新鮮で、ためになる。特に、「会話の流れ」を知るのが役に立つ。

③初級会話クラス学習者(ブラジル・生活者)

・店や会社などの毎日の身近なことを勉強できるので良い。

④初級会話クラス学習者(インドネシア・研修生)

・授業中に自分の意見を言うことができる。

クラスについてのアンケート結果(参考資料③)

＜質問項目＞

日曜日教室に通う理由は何ですか(2つ回答)

教室で勉強したことが役に立ちましたか(複数回答)

日曜日教室に来て、日本語の会話が上手になりましたか(1つ回答)

＜アンケート結果＞

・日本語教室に通うことで、日本語が上達したという感覚を得られている学習者が多いことが分かる。また、教室で勉強したことが、実際に役立ったことも学習者に自覚がみられるようである。

・アンケートは学習者の意見を教室運営に反映させる目的で行ったが、普段の日本語学習について学習者自身が振り返る良い機会となった。

(11) 改善点について

・入門レベルの学習者は、通訳がいないことによって、クラスの活動そのものに参加することが難しい場合がある。しかし、生活者対象の教室であるという特性上、どこの国の学習者がいつ来るかを事前に知ることは難しいので、クラスの間、通訳を常駐させることは難しい。

・新規学習者がほぼ毎回来るため、受付担当の係を置くことが理想的だが、新規学習者に対して、簡易インタビューを行い、レベル判断をすることのできるスキルを持った人員を確保するのは難しい。

・カリキュラム案から学習者の生活上よく接するトピックを選んでカリキュラムをたてているが、学習者の属性が様々なため、トピックの選定が難しい。今後も聞き取りを重ね、改良していく必要がある。

## 6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 地域のための日本語教育ワークショップ

(2) 目的・目標

「生活者としての外国人」への日本語学習支援にあたり、様々な角度から効果的かつ具体的な教授法や教室活動の展開方法を考察し、身に付ける。

(3) 対象者 地域日本語教育の現場に関わる日本語教師、日本語ボランティア、又は関心がある人

(4) 開催時間数(回数) 30時間 (全10回)

(5) 使用した教材・リソース

・文化庁カリキュラム案

・まるごと日本のことばと文化 入門 A1 りかい／かつどう (JF Standard coursebook / JF日本語教育スタンダード準拠コースブック)

・できる日本語(アルク)

(6) 受講者の総数 38人

(出身・国籍別内訳 日本 (38人) )

# (7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年10月5日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	14人	日本(14人)	生活者のための基本文法	日本語教師が押さえておくべき文法事項の確認。	原沢伊都夫	
2	平成25年11月2日14:00～17:00	2時間	クリエート浜松	16人	日本(16人)	浜松の外国人事情と地域の教室への期待	浜松の外国人の滞在資格などから見る動向の紹介。今後予測される変化と地域の日本語教室に期待されている役割を考える。	池上博	
3	平成25年11月23日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	12人	日本(12人)	教室活動の実際①	教室のビデオ映像を見ながら効果的なクラス構成・活動内容・声掛けについて考える(初級)	松本三知代	
4	平成25年12月7日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	10人	日本(10人)	教室活動の実際②	教室のビデオ映像を見ながら効果的なクラス構成・活動内容・声掛けについて考える(初中級・中級)	松本三知代	
5	平成25年1月12日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	14人	日本(14人)	会話活動と文法教育①	会話シラバスにおいて、文法項目を定着させるために効果的なテーマ、導入方法、教室活動等	白井えり子	
6	平成26年1月19日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	12人	日本(12人)	会話活動と文法教育②	第5回の内容を踏まえて、文法／会話／機能などの定着のための効果的なテーマ、導入方法、教室活動案をたてる	白井えり子	
7	平成26年1月25日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	13人	日本(13人)	ファシリテーターとしての日本語教師	日本語教師の役割について考える。学習者オートノミーを促進する教授法を考える。	松葉優子	
8	平成26年2月16日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	12人	日本(12人)	会話力評価の実践①	会話力評価のためのインタビューについて学び、学習者ゲストへのインタビュー計画を立てる	松葉優子	
9	平成26年2月22日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	14人	日本(14人)	会話力評価の実践②	インタビュー計画をゲスト学習者を対象に実行し、振り返る。	原沢伊都夫	
10	平成26年3月8日14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	13人	日本(13人)	会話を引き出すための教材・教具の工夫	様々な教材例を学び、活発な発話を促す教材の作り方、使用法について実践を通して考える	袴田麻里	

## (8) 受講者の募集方法

当団体ホームページ、メーリングリスト、Facebook、チラシ(参考資料③)、HICE(浜松国際交流協会)メーリングリスト

## (9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

### 第1回 研修会

平成25年10月5日(土)14:00～17:00 浜松市市民協働センター第3研修室

#### ①池上先生の経歴と研究の背景

- ・ 96年、家族化、定住化の兆しが見え始めたころ浜松の大学に赴任。
- ・ オーストラリアの事例(90年代後半に中国系インドネシア人が増えたこと)を参考に、浜松の事例を研究。

#### ②大まかな外国人の数

- ・ リーマンショックや、大震災の影響で短期的に見たら減っているが、10年スパンで見ると、100万から200万に倍増している。
- ・ 208万+非正規=210万 日本で15、6番目の県と同じくらいの規模

#### ③国籍別外国人登録者数の推移

- ・ 韓国:70万→55万。少子高齢化が進む。在日コリアも3、4世になると日本国籍を取るため、外国人に数えられない。
- ・ 中国:12万→70万。来日の動機が様々。農業研修生、零細企業の研修生、留学生、日本人の配偶者、高度人材など。
- ・ ブラジル:2、3年で11万人減。ブラジル人だけではなく、日本育ちの子ども達も帰国。リーマンショックだけではなく、日本の製造業のしくみも変わったため、目立って激減。
- ・ 10月15日付で入管法改正
- ・ ブラジルのニッケイ新聞の編集長(フカサワさん)曰く、1年半の契約を得て再入国することは難しいが、なんとかして入ってくるのでは、とのこと。
- ・ フィリピン:子どもたちが大きな心配の種

④在留資格別外国人登録者

- ・特別永住(在日コリアン)・一般永住(歴史的な背景を持たない)・定住者(更新の必要がない)
- ・永住ビザを持っていると、ローンを組むことができる。
- ・永住者・日配・定住者は就労に制限が無い。
- ・高度人材(人文知識・国際業務(文系大学卒)・技術(理系大学卒))

⑤県別国籍別比率

- ・岐阜県の中国人、零細繊維企業での研修生

⑥外国人労働者に関する日本政府の基本スタンス

- ・高度人材の受け入れを積極的に推進しているが、単純労働者の受け入れには慎重

7. ブラジル移民の歴史

1908年、第1弾。1920、30年代に移民増加、戦後移民も。

1920、30年代に農家所得が激減し、他国への移民が増えた。

戦前移民の団塊世代(20年代、30年代の壮年期にブラジルに渡った日本人)、

1980年に1世の引き上げ(逆移民)の開始

1985年のブラザ合意で円高に→デカセグboom

⑧浜松の在留資格別人口

永住者が50%

⑨ワークショップ1「国籍と在留資格、男女比と年齢層の表から読み取れることは何か」

- ・フィリピンの子どもが増えるのでは(定住者、永住者が多い)。
- ・フィリピンの子どもは、国籍は日本だが、ルーツはフィリピンの子どもが多い。
- ・ベトナムの永住者率の高さ(定住→日本国籍)
- ・日系インドネシア人(独立戦争に加わり、戦争後に留まった)定住→永住
- ・中国は在留資格が多岐にわたり、それぞれの数も多い。

⑩多文化共生とは？

「多文化共生」という言葉への批判(本質主義)

- ・阪神淡路大震災を期に、言葉が広く認識されるようになる。(田村太郎、吉富志津代の功績)
- ・文明の衝突
- ・総務省、豊田宣言への批判: 国や企業の責任を明記していない。日本人／外国人を峻別している。

⑪外国人政策の2つの柱

- ・出入国政策

受け入れの量・質的コントロール

70年代半ば、敗戦国ドイツの戦後復興を支えたトルコ人。

オイルショックで景気が悪くなったとき、滞在し続けることも、家族を呼び寄せることもできた。

日本の90年代で起こったことが20年前のドイツで起こっていた。

- ・社会統合政策

労働政策、社会保障政策、教育政策、受け入れ社会に対する政策

- ・日本の場合、出入国政策はあるが、国の社会統合政策は欠如。地方の取り組みが先行。

⑫ ワークショップ2「浜松で育った日系4世の大学生のプレゼンテーションを見て、意見交換する」

⑬浜松市多文化共生都市ビジョン

- ・インターカルチュラル政策

⑭ ワークショップ3「浜松市多文化共生都市ビジョンの精神に則って、日本語教室でどんなことができるか」

- ・外国人にとって、日本語教室が日本語社会とつながる場になりえる。

第5回 研修会

平成26年1月12日(日)14:00～17:00 浜松市民協働センター第3研修室

白井えり子先生(With-U Net代表)

① 日本語教師(日本語支援者)に必要なことは

- ・教え方のアイディアをたくさん持っていること
- ・どんな場合には(どんな人には)どう教えればよいか判断する力

② 自分のクラスを分析してみよう

- ・少しバックグラウンドを知っておくと、授業に役立つ
- ・クラスによって状況が違う
- ・教え方の正解は無い

③ 日本語教育の流れ

- ・文法積み上げ式から、場面中心の教え方を経て、文法と場面の融合へ。
- ・文法を全く取り扱わないと、学習者は自分の言いたいことが言えるようにならないのでは？

④ モデル授業

- ・レストランで(場面中心で、フレーズを覚えさせる)
- ・場面を押し付けるのではなく、その前段階として、学習者を場面の中に引きずり入れる。そのことで、生きた場面の中での日本語活動になる。
- ・パーティーの準備(場面を通して「～てください」を導入。て形の整理)
- ・パワーポイントを使うことで、繰り返し練習がさせやすくなる。
- ・場面を先に理解させる→文法項目を整理する
- ・他の日に文法をまとめる機会を作る

⑤ 何に重きを置くかで教え方が変わる。

- ・場面でフレーズ的に覚える。文法説明はほとんどいらない。
- ・場面でスタートし、そこで使われている使い方を整理する(学習者主体)
- ・↑の整理で時間がかかるものを取り上げて文法主体で学習
- ・日頃から間違いが多いものを取り上げて考える(日本語クリニック)
- ・これらの授業ではあくまで、教案の中で考えられた文型・文を言ってもらう授業であり、学習者の自由度はそれほど高くない



## 第9回 研修会

平成26年2月22日(土)14:00～17:00 浜松市民協働センター第3研修室

松葉優子先生(U-Toc)

### ① 前回(第8回)の内容の復習

#### ② 質問の型を整理する

- ・ 質問の形と難易度(Yes/No疑問文・Wh疑問文・説明してください・詳しく説明してください)
- ・ 説明するようにお願いした時に、どの程度の「かたまり」で話が返ってくるかを見る。

### ③ インタビューの注意点

- ・ 質問者が知っていることも、知らないふりをする。
- ・ 最後は学習者のレベルに戻って終わる。
- ・ 言語的挫折にどう対処するか

(沈黙)沈黙が長く続いた場合は少し待つ。

(母語による発話)英語などに置き換えた場合はその語彙を突っ込む。

(回避)「説明できない」などの回避は深追いしない。

- ・ 学習者にターンを取られないようにする。

### ④ 会話能力を判定した後は評価を伝える

- ・ 出来たことを先に、出来なかったことを後に伝える。
- ・ 出来なかったことを後につなげる
- ・ 出来れば改善のための学習方法を伝える

### ⑤ Q&A

- ・ 識字能力と会話能力のバランス
- ・ 「浜松版」の意味は？

浜松にいる生活者の属性に合わせている。

- ・ OPIの判定レベルと違うところは？

OPIの基準では「中級」とまってしまう地域の学習者の会話能力を細分化したレベルの中で判断する。

- ・ C7はOPIの上級の下に近い

### ⑥ インタビューを終えて

- ・ 話題がいたりきたりしてしまった
- ・ 質問攻めにしてしまってもエビデンスが取れていない
- ・ 質問を繰り返すばかりで、質問への答えを聞けていなかった
- ・ 学習者と面と向かうと知らないふりをすることや、発言を待ったりすることが難しい

### ⑦ 先生からの指摘

- ・ 相槌の仕方をもっと考えなければならない
- ・ C5を判断するためにはC6が出来ないことを確かめなければいけない(C6の質問をしなければいけない)
- ・ 学習者のストラテジーに質問者が頼らないようにする

### ⑧ 教室への期待

- ・ 塊で話すことを意識させ、相手に負担がかからない「話す力」を付けていってほしい。
- ・ また同時に「聞く力」と「聞き方」についても指導してほしい



(10) 目標の達成状況・成果  
・「効果的かつ具体的な教授法や教室活動の展開方法を学ぶ」という目標が十分に達成できたと思われる。事後アンケートから、実践的で具体的な講義・ワークショップの内容が、受講者に好評だったことがわかる。

講座事後アンケート(参考資料④)より  
「実際に使用している教材等が見られると非常に良いと思います。(第3回)」「実際の授業を振り返るという形式のワークショップはまた行ってほしい。(第4回)」「会話力での評価を今までしたことが無かったので、質問の作り方が勉強になってよかった。(第9回)」  
・事後アンケートにおける、「講義内容がスキルアップに役立つと思うか(質問1)」「ワークショップの内容がスキルアップに役立つと思うか(質問2)」の項目に対する回答から、この事業の研修会が概ね高評価であったことがわかる。

・第7回、8回で取り上げた「浜松版口頭能力評価システム」は、実際の教室運営において、クラス分けや授業内容の振り返りに有用だと思われるため、教室運営への応用が強く望まれる。

(11) 改善点について 取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。  
①カリキュラム案を実際に利用して教室を行っている講師の話聞く機会がなかった。  
②事後アンケートより、受講者からの質問やコメントに下記のように具体的なものが多かったが、答えることができなかった。受講者の質問に講師が直接回答できるように、講師の数を減らし、一人の講師が数回担当する構成にするとより良かったかもしれない。  
例)  
「浜松市における外国人の国籍と在留資格」のデータより、中国人の在留資格にばらつきがあるのはどんな背景、現状があるのか?(第2回)  
取り上げるイラストはどうやって手に入れていますか。(イラストを使いたいと思ってもなかなか思うイラストが手に入りません)(第5回)

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 会話活動のためのワークシート集
- (2) 対象 初級学習者および中級学習者・母語は問わない
- (3) 目的・目標  
会話を展開・発展させていくためのワークシートや、習った表現の定着を図るためのワークシートを作成し、本事業の教室で使用し、改善を加えていくことにより、話題・場面からのアプローチながら、学習者に「勉強した」という感覚を持ってもらうことを目指す。
- (4) 19テーマ、84ページ  
初級対象 10テーマ  
初中級～中級対象 9テーマ
- (5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年10月13日 12:30~13:30	1時間	浜松市市民協働センター	敷浪のぞみ 高林泰央 橋本貞美	教材作成にあたって	教材のフォーマットの確認 トピックの選定

(6) 使い方  
テーマごとに、ワークシート、ワークシートの記入例および注意点、ワークシートを使った授業内容例のセットとする。  
学習者の発話を最大限に生かすべく、「場面／トピックに向けてのウォーミングアップ→場面／トピックの導入(その際にイラスト、写真などを多用する)→書く活動または、学習事項の確認としてのワークシート活動」のような流れに留意し、効果的にワークシートを使う。

※カリキュラム案に加え、中分類 (14)他社との関係を円滑にする、小分類(31)人と付き合うの下位項目として、「待遇表現を身に付ける」の項目を加える。  
また、大分類「社会を構成する」、中分類「対話をする」「意見を言う」「語彙を増やす」の項目を加える。

- (7) 具体的な活用例  
テーマ「身だしなみ」 初中級～中級対象
- ① 日本で服装について迷ったことがないか尋ねる。また服装に気を付けるときはどのような時か話してもらう(お葬式の時・面接の時などの話が出る。)
  - ② いろいろな服装の絵を比べて場面によってどのような服装がいいか話し合う。
  - ③ 話し合いながら語彙の導入、練習。
  - ④ モデル会話「友達の服装を指摘する」を紹介
  - ⑤ モデル会話の練習＆ほかのパターンで会話

(8) 成果物の添付  
Word形式で別添

## 8. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的

浜松に暮らす外国人が日々の生活の中で出会う様々な場面で使われる日本語の学習機会を提供し、習得へと導く。  
浜松駅の近くに日本語教室を設置し、広く浜松市とその周辺地域に在住する外国人に、日本での生活を安全に豊かに送るために役立つ日本語会話を指導する。  
上記日本語教室に関わる日本語教師・ボランティアおよび関心がある日本人に対し、実践的で具体的な日本語教授法のアイデアを共有するための日本語指導者養成ワークショップを開催する。  
上記日本語教室で使用するための、カリキュラム案にあるCan-doをレベル別に抽出したオリジナル教材を作成する。

### (2) 目標の達成状況・事業の成果

- ・浜松とその周辺地域に暮らす外国人の生活に即した日本語教室を開催することができた。カリキュラム案からより汎用性が高い項目、実際の生活で使える日本語を教えることで、学習者の「勉強した」という感覚、さらに「上達した」という感覚に貢献できた。
- ・学習者同志のつながりの場所としての日本語教室が確立している。同じ国や外国人の知り合いを増やし、日本での生活を豊かにすることにつなげている学習者が多い。
- ・教室ですぐに生かせるテクニックやアイデアを得られる場としての研修会を開催した。受講者のうち、本事業の日本語教育に関わった日本語指導者からは、研修会の内容が日本語教室で教えることに役立ったという声が多く聞かれた。

### <事業後日本語教室指導者・補助者への聞き取りより>

- ・外国人情勢データは、日本語教室で常々、外国人と接する立場において、頭に入れておく必要があることなので、知ることができて良かった。(第2回・初級クラス指導者)
- ・学習者の背景について理解できたので、クラスの内容を考えるとときに参考にした。(第2回・初級クラス指導者)
- ・ロールプレイの実践方法をすぐ教室で使った。中級クラスでは、会話の流れと達成目標だけを提示して、その他は自由に考えさせることで、学習者にとって「少し難しいけど楽しい」クラス内容となった。(第3回、4回・中級会話クラス指導者)

- ・教室の内容を考えるとときに、「文法シラバス」「場面シラバス」などにとらわれるのではなく、その日はどちらに軸足を置いて授業を行うかを考えるところから始める、という考え方が新鮮だった。一つのクラスで、様々な要素をバランスよく盛り込んで授業をするようにした。(第5回・中級会話クラス指導者)
- ・会話や場面を中心に上げる回と、文法を復習したり、まとめたりする回を両方行うようにした。(第5回、6回・初級会話クラス指導者)
- ・インタビューの難易度に応じた「質問の型」を学ぶことで、新しく来た学習者に対してや、授業内のやりとりにおいて、学習者になげかける質問が変わった。(第9回・中級会話クラス指導者)
- ・学習者の発話生成能力を見極めるための質問の仕方が分かった。それによって、学習項目の定着をチェックしたいときの、質問の仕方を考える観点を得られた。クラスで常に生かしていきたい。(第5回、6回・中級会話クラス指導者)

### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

#### 【活用法】

- ・クラスごとのカリキュラムをたてる際に、標準的なカリキュラム案の「生活上の行為」の項目から、学習者の身近で起こりそうな場面を選び、クラスのレベル(入門、初級、中級)に応じた文法レベルや語彙の目標を設定する。
- ・毎回のクラスの報告書に番号と項目(例:(3103010)日本社会におけるつきあい方を理解する)を載せ、既習項目かどうかを検索しやすいようにする。

#### 【気づいた点】

- ・カリキュラム案ではCan-do項目がレベル別に分かれていないため、学習者のレベルが入門～中級にわたり多様であるという現状において、クラスのトピックを選定する際にカリキュラム案のCan-do項目をさらに噛み砕く作業が必要となる。あるCan-do項目を実際のクラスのレベルにあった内容にするには、その項目を使った場面やトピックで表出する表現をレベル別の文法項目に落とし込んでいく必要がある。Can-do項目とレベル別項目のどちらからも参照できる形になるとさらに地域の日本語教室にあったカリキュラムとなるのではないだろうか。

- ・カリキュラム案のCan-do項目は、主に「問題を解決する」「生活上で必要最低限なタスクを達成する」ことに焦点が置かれていて、さらにその先の、「日本社会を構成する一員となる」という観点で不十分な点がある。例として、「意見を述べる」「自分について語る」のような、タスクを達成することだけに収まらない人間同士のコミュニケーションについて取り上げている項目が少ない。
- ・地域において周りの日本人と関係を築き、豊かな生活をしていくために必要な「雑談力」を伸ばすためには、様々なトピックについての語彙を増やすことが求められるし、最低限のコミュニケーションができるようになった後は、大人、社会人としてのコミュニケーションを円滑に進めるために、文化的・社会的なさまざまなトピックについて日本語力を伸ばすための項目が増えることが望ましい。

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

- ・8月4日にHICEとの共催で日本語スピーチコンテストを行った。学習者の日頃の頑張りをアピールする良い機会となった。
- ・研修会は全ての回を通してヒューマンアカデミー浜松校の日本語教師養成講座の受講生の参加がみられ、地域に根差した日本語教育の現場を紹介する、よい機会となった。

(5) 改善点, 今後の課題について

- ・浜松で平日に仕事に就いている学習者のために、日曜日に教室を継続的に開催することと同時進行で教材作成を行うことは、専任の日本語教師でないスタッフが多い団体にとっては難しい。教材作成のみ行うスタッフをつくるなど、円滑な事業の進行には体制を整えることが必要である。
  - ・地域における日本語教育機関同士のさらなる交流を深めていくことが望まれる。
- 特に、教材・リソースの共有や、評価方法の習得など、事業の改善につながることもあると思われる。

(6) その他参考資料



にちょうび  
10:00~12:00

しょかい  
初回は9:30に  
こ  
お越しください

# にちょうび にほんご きょうしつ

むりよう  
無料¥0



いっしょ にほんご べんきょう  
一緒に日本語を勉強しましょう。



## Conversation & Writing Classes

かいわ  
会話クラス  
にゅうもん しょきゅう  
入門 / 初級 /  
ちゅうきゅう  
中級

もじ  
文字クラス  
ひらがな / カタカナ /  
せいかつかんじ  
生活漢字

## Schedule | きょうしつのスケジュール

4月 | 7日・14日・21日  
(28日はやすみです。)

5月 | 12日・19日・26日  
(5日はやすみです。)

6月 | 2日・9日・16日  
23日・30日

7月 | 7日・21日・28日  
(14日はやすみです。)

8月 | 18日・25日  
※4日はスピーチたいかいです。  
(11日はやすみです。)

9月 | 1日・8日  
15日・29日  
(22日はやすみです。)

10月 | 6日・13日  
20日・27日

11月 | 10日・17日・24日  
(3日はやすみです。)

12月 | 8日  
※15日はパーティーです。  
(22日、29日はやすみです。)

1月 | 12日・19日・26日  
(5日はやすみです。)

2月 | 2日・9日  
16日・23日

3月 | 2日・9日  
23日・30日  
(16日はやすみです。)

はままつ し し みんきょうどうせ ん た ー かい  
浜松市市民協働センター 2階

はままつ し なかく ちゅうおう ちようめ  
浜松市中区中央1丁目13-3

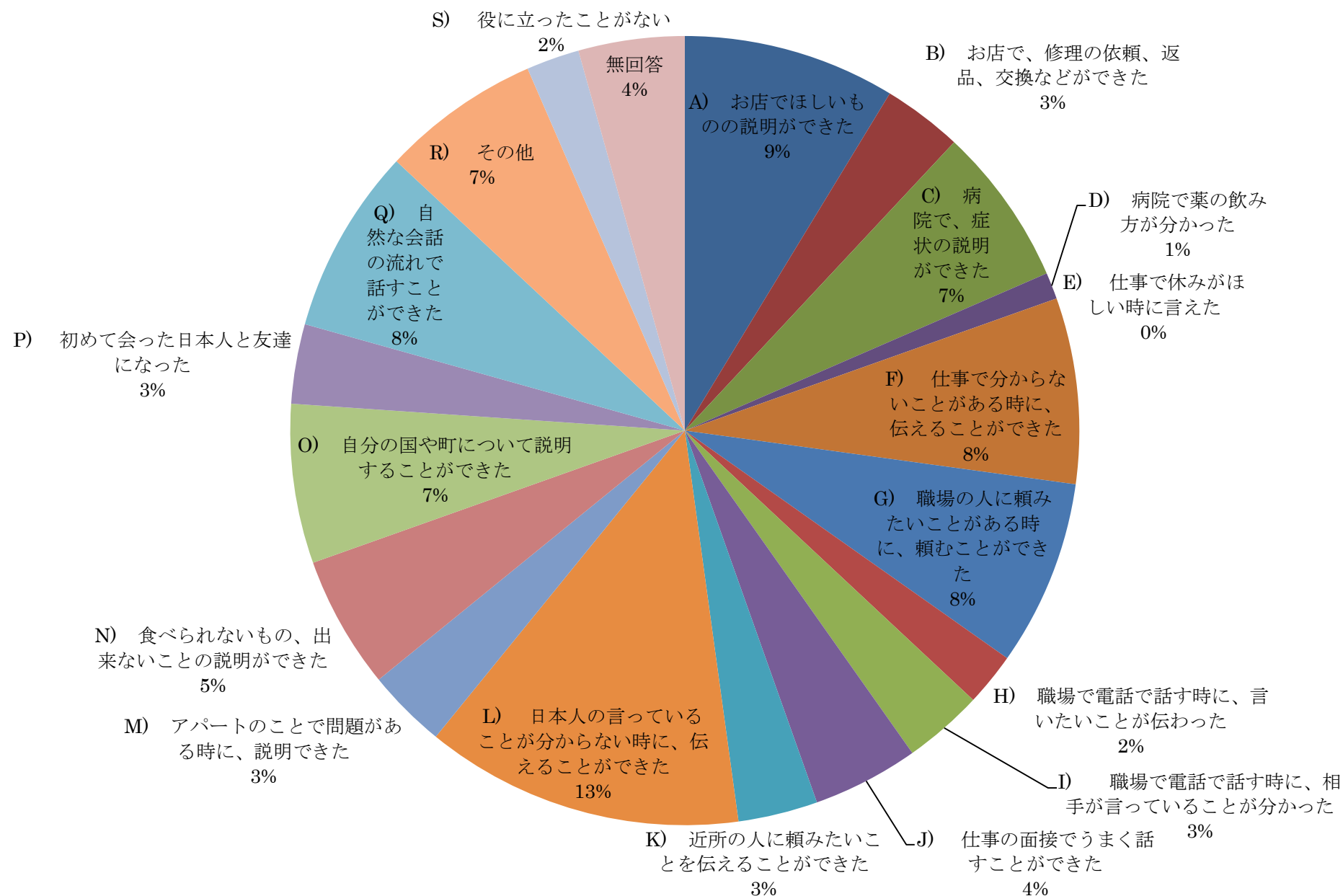
Tel:



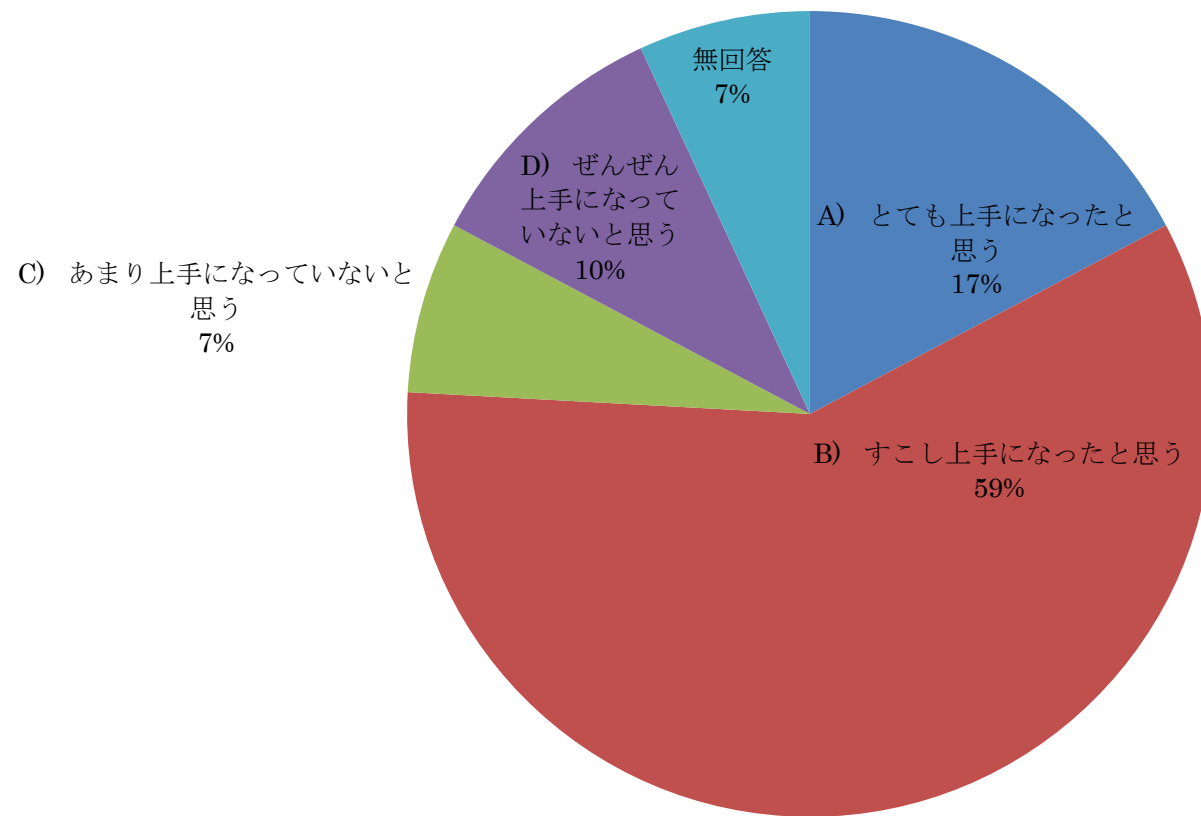
## アンケート

- ① どうして日曜日の教室に来ますか（一番大事な理由を2つ）
- A) 時間と曜日がちょうどいいから
  - B) 場所がいいから
  - C) 無料だから
  - D) 内容がいいから
  - E) 日曜日のクラスに友達がいるから
  - F) 同じ国の人がいるから
  - G) 先生がいいから
  - H) 家族や友達に誘われるから
  - I) 理由はない
- ② 教室で勉強したことが役に立ったことがありますか。いつ、どこで？（いくつでも）
- A) お店でほしいものの説明ができた
  - B) お店で、修理の依頼、返品、交換などができた
  - C) 病院で、症状の説明ができた
  - D) 病院で薬の飲み方が分かった
  - E) 仕事で休みがほしい時に言えた
  - F) 仕事でわからないことがある時に、伝えることができた
  - G) 職場の人に頼みたいことがある時に、頼むことができた
  - H) 職場で電話で話す時に、言いたいことが伝わった
  - I) 職場で電話で話す時に、相手が言っていることが分かった
  - J) 仕事の面接でうまく話すことができた
  - K) 近所の人に頼みたいことを伝えることができた
  - L) 日本人の言っていることが分からない時に、伝えることができた
  - M) アパートのことで問題がある時に、説明できた
  - N) 食べられないもの、出来ないことの説明ができた
  - O) 自分の国や町について説明することができた
  - P) 初めて会った日本人と友達になった
  - Q) 自然な会話の流れで話すことができた
  - R) その他
  - S) 役に立ったことがない
- ③ 日曜日のクラスに来て、日本語の会話が上手になりましたか。（1つ）
- A) とても上手になったと思う
  - B) すこし上手になったと思う
  - C) あまり上手になっていないと思う
  - D) ぜんぜん上手になっていないと思う

## 教室アンケート 「教室で勉強したことが役に立ちましたか（複数回答）」

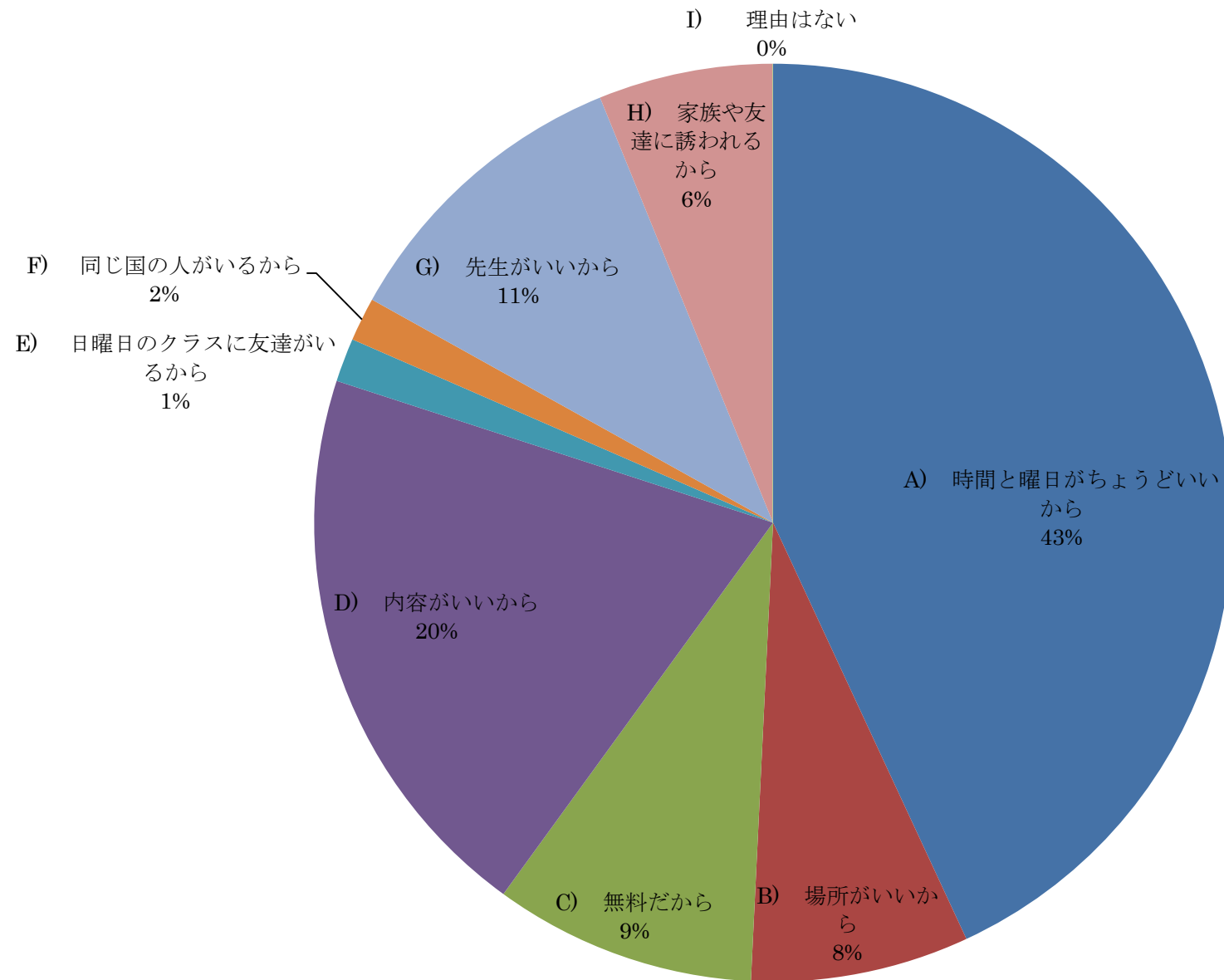


教室アンケート「日曜日教室に来て、日本語の会話が上手になりましたか（1つ回答）」





## 日曜日教室に通う理由は何ですか(2つ回答)



# 地域のための！ 日本語教育ワークショップ



## 地域で日本語教育の現場にいるみなさま！

明日の教室に活かすことができる、様々なアイデアや具体的なテクニックと一緒に学びましょう。

「文法中心のテキストに頼らない日本語教授方法とは…?」「おしゃべりに終わらないコミュニケーション力重視の日本語教育とは…?」「学習者のコミュニケーション力を伸ばすより良い方法は…?」などなど、地域の日本語教育の現場で湧き上がるさまざまな課題の解決法をワークショップ形式で考えていきませんか?日本語教育の現場や研究の第一線で活躍する先生方をお招きし、講義&ワークショップの形式で学びます。

### PROGRAM & SCHEDULE

第1回	10/5 (土) 14:00 - 17:00 講師 / 原沢伊都夫 (静岡大学教授) 生活者のための基本文法 生活者としての日本語学習者に対して優先的に 教えたい文法事項を考えます。	第2回	11/2 (土) 14:00 - 17:00 場所 / クリエイト浜松 講師 / 池上重弘 (静岡文化芸術大学教授) 浜松の外国人事情と地域の日本語教室への期待 浜松の外国人の滞在資格などから見る動向の紹介。 今後予測される変化と地域の日本語教室がすべきことを話し合います。
第3回	11/24 (日) 14:00 - 17:00 講師 / 松本三千代 教室活動の実際① 教室のビデオ映像を見ながら効果的なクラス構成・ 活動内容・声掛けについて考えます。(初級)	第4回	12/8 (日) 14:00 - 17:00 講師 / 松本三千代 教室活動の実際② 教室のビデオ映像を見ながら効果的なクラス構成・ 活動内容・声掛けについて考えます。(初中級および中級)
第5回	1/12 (日) 14:00 - 17:00 講師 / 白井えり子 (With - U Net 代表) 会話活動と文法教育① 会話活動において、文法項目を定着させるために 効果的なテーマ、導入方法、教室活動等を考えます(初級)	第6回	1/19 (日) 14:00 - 17:00 講師 / 白井えり子 (With - U Net 代表) 会話活動と文法教育② 会話活動において、文法項目を定着させるために効果的なテーマ、 導入方法、教室活動等を考えます。(初中級および中級)
第7回	1/25 (土) 14:00 - 17:00 講師 / 原沢伊都夫 (静岡大学教授) ファシリテーターとしての日本語教師 「教える」だけではない、地域で教える日本語教師に 必要とされる能力を考えます。	第8回	2/16 (日) 14:00 - 17:00 講師 / 松葉優子 (浜松学院大学非常勤講師) 会話力評価の実践① 会話力評価を教室活動に生かすべく、学習者ゲストへのインタビュー 計画を立てます。
第9回	2/22 (土) 14:00 - 17:00 講師 / 松葉優子 (浜松学院大学非常勤講師) 会話力評価の実践② 第8回で計画した会話力評価のインタビューを実践し、 振り返りをします。	第10回	3/8 (土) 14:00 - 17:00 講師 / 袴田麻里 (静岡大学准教授) 会話を引き出すための教材・教具の工夫 活発な発話を促す教材の作り方、使用法について実践を通して考えます。

### ACCESS & INFORMATION

申込 / XXXXXXXXXX 受講料 / 無料 定員 / 30人  
施設所在地 / 浜松市市民共同センター(浜松市中区中央1丁目13-3 2F)・クリエート浜松(2回目のみ)  
アクセス / JR東海道線・新幹線:浜松駅から徒歩8分 遠州鉄道西鹿島線:遠州病院駅から徒歩2分  
注意事項 / 各施設には、専用駐車場がありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。  
エムテッククリエート浜松東パーキング(旧市営東田町地下駐車場):徒歩1分



本日は、にほんご NPO「地域のための日本語教育ワークショップ」にご参加いただきありがとうございます。

今回のワークショップに関するご意見・ご感想をお聞かせください。

\*\*\*\*\*

1. 本日の講義を通してご自身のスキルアップにつながったと思いますか。  
☐非常に思う ☐あまり思わない  
☐思う ☐思わない  
☐その他 ( )
2. 本日のワークショップを通してご自身のスキルアップにつながったと思いますか。  
☐非常に思う ☐あまり思わない  
☐思う ☐思わない  
☐その他 ( )
3. またこのようなテーマの企画があれば参加したいと思いますか。  
理由もお聞かせください。  
☐はい  
☐いいえ  
☐どちらともいえない
4. 講師の先生へのご質問・ご意見などありましたら、お書きください。
5. 今回のワークショップについてはどのように知りましたか。  
☐にほんご NPO 会員 ☐ヒューマンアカデミー受講生  
☐HICE News ☐知人から ( ) さん  
☐チラシ (U・Toc にて) ☐その他 ( )  
☐チラシ (市民協働センターにて)

6. その他ご意見・ご感想などを自由にお書きください

( )

\*\*\*\*\*

(初めてご参加された方のみ) 差支えなければ以下の質問にもお答えください。

1. 現在、日本語教育に携わっていますか。  
☐はい ( ) ☐いいえ  
☐日本語教育に関わっていきたい又は予定がある。
2. 会員以外の方で、今後、にほんご NPO からの情報の送付をご希望の方は連絡先をお書きください。

お名前 ( ) メールアドレス ( )

\*\*\*\*\*

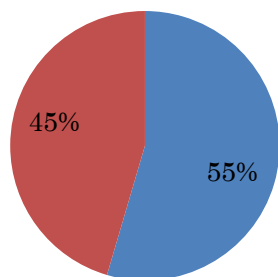
ご協力ありがとうございました。

質問 1：本日の講義がスキルアップに役立つと思いますか。

質問 2：本日のワークショップがスキルアップに役立つと思いますか。

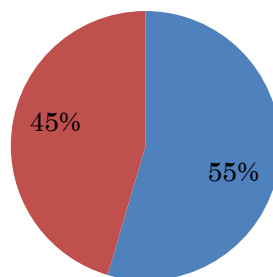
### 第3回 質問1

■非常にそう思う ■そう思う  
■あまり思わない ■思わない  
■その他



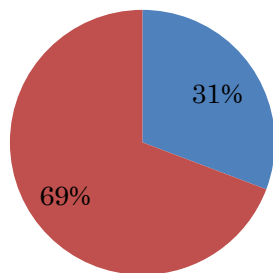
### 第3回 質問2

■非常にそう思う ■そう思う  
■あまり思わない ■思わない  
■その他



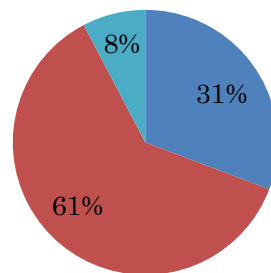
### 第5回 質問1

■非常にそう思う ■そう思う  
■あまり思わない ■思わない  
■その他



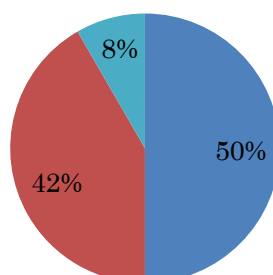
### 第5回 質問2

■非常にそう思う ■そう思う  
■あまり思わない ■思わない  
■その他



### 第9回 質問1

■非常にそう思う ■そう思う  
■あまり思わない ■思わない  
■その他



### 第9回 質問2

■非常にそう思う ■そう思う  
■あまり思わない ■思わない  
■その他

